

# オーガニック講座

## ～有機農法・自然農法を学ぶ～

有機農法・自然農法の基本的な知識や技術、新規就農した農家の体験に基づいた就農への考え方を学ぶことができる講座です。

新規就農を目指している方、すでに農家として活動している方、有機農業・自然農法に興味をもっている方、農家を支える仕事をしたい方に向けた内容になっています。

**4/13 耕さなくてもえーがね。生き物が育む土壌**  
…金子信博(横浜国立大学大学院教授)  
金子信博さんは、窒素や炭素などの重要な元素が土壌動物によってどのように土壌中で動き、植物の成長や多様性と関係しているのか研究しています。その結果、有機＋不耕起農法によって土壌環境が良くなると、作物生産も向上することがわかってきたそうです。人が土を耕すことと土の生き物、農業との関係についてうかがえます。

**伝統農法で作るカンボジアの胡椒** **5/18**  
…倉田浩伸(KURATA PEPPER 代表)  
倉田浩伸さんは、内戦でインフラも産業も人材も失ったカンボジアを、農業分野から再建したいとカンボジアに渡って胡椒栽培に着手。安全で高品質な胡椒を生産することを理念に掲げ、カンボジア初のオーガニック認定も取得しました。どんな思いをもちながら海外で有機農業に取り組んできたのか、そして伝統農法で栽培するカンボジアの胡椒についてうかがえます。

**6/15 雑草や病害虫の問題解決策**…岩石真嗣  
(自然農法国際研究開発センター草木農場長)  
長年、研究者の立場で自然農法に関わってきた岩石真嗣さんから、農家にとって最大の悩みである雑草や病害虫の問題を、自然農法的に解決に導く方法についてうかがえます。  
6月4日(日)に草木農場(知多郡阿久比町)で行う現地見学と合わせて受講することをおすすめします。現地見学については申し込みいただいた方にお知らせします。

**就農資金、どれくらいかかるんだろう。** **7/20**  
…井上哲平(つなぐ農園)  
サラリーマンだった井上哲平さんが有機農家に転身するにあたって一番わからなかったことは、どれくらいの就農資金が必要なのかということでした。2年の研修と就農後2年を経てようやく見えてきたという体験談を中心に語ってもらいます。

**8/17 データ管理された効率的な有機農業**  
…福廣博敏(福廣農園)  
土壌分析とそれに基づく施肥設計をベースに、むだのない効率的な有機農業に取り組む福廣博敏さん。草取りのいらぬ畑を作り、省力化の技術を学ぶことで、高品質な野菜を効率的に生産してきた福廣さんの農業について、うかがえます。

**有機農産物の流通～あいのう流通センターの場合** **9/21**  
…江端貴(あいのう流通センター社長)  
全国愛農会とつながりのある生産者が中心になって作った流通組織「あいのう流通センター」。江端貴さんは2代目の社長として、生産者・消費者・流通が互いに顔の見える関係を大切にしながら、有機農産物の流通に取り組んできました。有機農産物の流通がどうなっているのか、新規就農者がどうやって自分の農産物を販売していけばいいのかなどについて、うかがえます。

■参加希望日・お名前・ご住所・電話番号・アドレス・受講動機を記載してメールかFAXでお申し込みください。



時間…18:30～21:00

場所…名建協ビル会議室

名古屋市東区泉 1-13-34

名城線・桜通線「久屋大通」1A 出口徒歩3分

受講料…連続 6,000円 1回 1,500円

主催…オーガニックファーマーズ名古屋  
(オアシス21 オーガニックファーマーズ朝市村)

後援…NPO 法人有機農業参入促進協議会

TEL 052-265-8371 FAX 052-308-3417

メール ofa@fuga.ocn.ne.jp